



ビジネストーク

「創意工夫」

頭取 大道 良夫

新年明けましておめでとうございます。

皆さまには、お健やかに新しい年をお迎えになりましたこととお慶び申し上げます。

当行は、2015年の「今年のキーワード」を「創意工夫」といたしました。

当行では、新年にかける意気込みや目標を端的な言葉で役職員全員が共有し、その実現に努力するため、毎年、「今年のキーワード」を定めています。

頭取就任以来、「二字熟語としてきましたが、今は四字で内容をより具体的にし、全員が日常業務の中で常に意識しながら、互いに励まし合い、「やる気」を揃えて「創意工夫」の実践を、との願いを込めました。

「創意工夫」は「独創的な考え方や方策を編み出す、工夫すること」です。役職員全員がそれぞれの持ち場で知恵を絞つて工夫し、銀行業務の簡素化や効率化に努めて、お客様に満足していただけるサービスの充実、安心していただける経営基盤の一層の強化を図つてまいりたいと考えます。

また、「地域お取引先の成長なくして当行の成長なし」の信念のもと、不断の「創意工夫」で「ユービジネスの育成、グローバル・ニッセ企業への成長サ

ポートなどに努め、地域経済の活性化、新陳代謝

の促進に貢献し、一段と「お役に立てる銀行」を目指してまいります。

さて、昨年暮れの衆院選を経た新年の経済情勢は、と見ますと、なお不確実な状況と言わざるを得ません。国の成長戦略、特に「地方創生」の推進で企業の業績が好転、従業員所得が増加して消費が拡大するとの経済の好循環が生まれ、大きくなうねりとなつて地方、中小企業へ広く浸透することを願わざるを得ません。

「地方創生」のカギもやはり「創意工夫」にあると思います。従来、どちらかと言えば国の補助金行政に頼り、用意されたメニューをこなしてきた「地方」が、今こそ地域の特性に合った地場産業を育成するための「創意工夫」を自ら行うことが期待されているのではないか。

全国の各地で、特産品の販路開拓や加工場を整備して6次産業化、そしてブランド化に取り組み、新たな雇用を創出しようとの活動が起つています。

このようなさまざまの「創意工夫」により、その集積でできた流れを加速する「エンジン」の役割を果たすことが、私たち地方銀行の使命であると改めて認識する次第です。

本年は行内外で「創意工夫」に努めてまいります。

ご支援のほど、よろしくお願ひ申し上げます。